

活性化計画が順調に進み、2期目の事業を実施

ワインを核とした交流から移住に発展

はるやま
春山地区活性化計画（鹿児島県霧島市）

こうしゅうしおおふじ・たまみや・かみかね
甲州市大藤・玉宮・神金地区活性化計画（山梨県甲州市）

【取組概要】

- ・事業期間：H25～R元年度
- ・事業実施主体：農事組合法人霧島さくら農園
- ・事業費：約7.4億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：加工販売施設、ハウス、木チップボイラー、堆肥製造施設等



低コスト対候性ハウス

取組のきっかけ

樹園地での観光農園を推進している地区だが、平成22年の新燃岳噴火の影響もあり、来園者数減少と耕作放棄地の増大が進んでいたため、地域資源をフル活用した農業×観光の新たな取組を構想した。

既存の果樹栽培、観光農園の取組にいかにか付加価値をつけるかという視点で検討を進め、ブランド化の発想がなかった金柑活用や果樹の枝葉、家畜排せつ物等の堆肥化による有機栽培等の生産強化～加工をH25～H26で実施。

地域産物（金柑）の販売額目標8百万円に対し実績9百万円を達成！
さらに...

生産・加工体制が確立し、販売強化に向けた機運が高まり、H28～R元年度に事業を再活用して産直レストラン、ワイナリー等の整備に発展した。来園者と地域産物販売額の増加に伴って、耕作放棄地化していた農地も再活用された。加工やレストランの分野で専門職として雇用が生まれたことで、市内への移住・定住にもつながっている。

堆肥化施設や木チップボイラーによる循環型農業は昨今注目が増し、修学旅行受入時の環境教育の一環としてもニーズがある。（金柑シロップ、金柑大福）



【取組概要】

- ・事業期間：H29～30年度
- ・事業実施主体：98WINEs合同会社
- ・事業費：約2.3億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：醸造棟、樽庫、体験販売施設（カフェ・多目的スペース）



施設SNS



ワイナリー施設

取組のきっかけ

人口減少、少子高齢化により限界集落の危機に直面し、地域農産物のブドウ、地域産業のワインづくりを通じた活性化を検討。体験交流型のワイナリーとして外から訪れた人に「場所文化」を伝えることを狙いとした。

ワイナリーの整備計画と併せて、農業体験用ほ場の整備（県の補助事業）、農泊施設整備（農泊推進対策）を北部地区協議会で計画。また、地域に根付いたブドウの品種に限定し、かつ契約栽培によりワインづくりを行うことで、地域のストーリーを伝えるとともに、地域内に付加価値を還元することに取り組んだ。

地域産物の販売額目標982百万円に対し実績1,481百万円を達成！
さらに...

販売額や交流人口の増加だけでなく、ワイナリーの研修生を希望する方を住込みで受け入れるケースや常連となり地域に魅力を感じて移住につながったケース、新規就農につながったケース等、定住人口確保や農業の担い手確保にも寄与した。当初計画した農泊施設だけでなく、想定以上の滞在ニーズに応じて新たに宿泊棟を備えたブルワリー施設を整備するなど、取組が展開されている。



農泊施設でのイベント